



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 上場取引所 東  
 コード番号 3965 URL https://www.cap-net.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 雅一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部担当 (氏名) 青木 浩一 (TEL) 06-4796-5666  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	2,510	21.8	180	—	174	—	115	—
2025年9月期第1四半期	2,060	5.9	14	33.1	9	31.8	2	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期  $\Delta$ 14百万円(—%) 2025年9月期第1四半期 148百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第1四半期	円 銭 20.11	円 銭 20.11
2025年9月期第1四半期	0.37	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益について、2025年9月期第1四半期は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年9月期第1四半期	百万円 6,315	百万円 3,861	% 57.9
2025年9月期	6,630	3,930	56.1

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 3,654百万円 2025年9月期 3,718百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 —	円 銭 9.50	円 銭 18.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	10.1	350	$\Delta$ 8.8	350	$\Delta$ 10.1	230	$\Delta$ 13.9	40.05
通期	10,300	6.3	630	18.7	630	17.7	410	2.0	71.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	5,747,616株	2025年9月期	5,747,616株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	1,550株	2025年9月期	1,550株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	5,746,066株	2025年9月期1Q	5,734,387株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年3月3日（火）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料につきましては、決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間においては、米国トランプ政権における政治・経済政策や関税リスクへの懸念による不透明な環境下、日本経済は物価高騰が継続するものの賃上げによる実質賃金の改善やインバウンド需要に支えられ、内需を中心に底堅く推移しました。

当社グループを取り巻く環境では、高市政権が「資産運用立国」の推進を所信表明で掲げ、新NISAの対象拡大をはじめ貯蓄から投資への流れを加速させています。この国策は当社の資産管理や資産運用向けシステム需要を後押ししており、2025年の国内金融IT市場規模も前年比7.5%増で3兆円を超える状況です（IDC Japan）。特に資産形成・資産運用分野では、個人投資家層の拡大を受け生成AIを活用したパーソナライズされた資金運用ニーズが高まっており、従来の資産管理システムを刷新し、顧客の投資目的、資産状況に最適化されたアドバイザリー機能やリアルタイム性を備えた次世代型基盤への開発投資が活発化しています。このような良好な市場環境を背景に、当社のシステムソリューションの受託開発も着実に進展しています。

当社グループは「FT（Financial Technology）とIT（Information Technology）の統合により、ファイナンスウェルネスを創造する」というパーパスを掲げ、政府が推進する資産運用立国実現プランを支援する最新のデジタルソリューションを提供しています。当2026年9月期は、中期経営計画（2025年9月期～2027年9月期）の2年度目に当たります。人生100年時代・大相続時代における事業承継・財産承継・資産運用へのニーズの高まりを捉え、当社グループの強みであるタックスマネジメントとアセットマネジメントを融合したサービスにAI&APIといった先進テクノロジーを組み合わせ、中期経営計画で策定した5つの成長戦略に沿って企業価値向上への取り組みを推進しているところであります。

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	2,060,931	2,510,162	449,230	21.8%
売上総利益	378,890	595,969	217,079	57.3%
売上総利益率	18.4%	23.7%	—	5.4p
販売費及び一般管理費	364,369	415,759	51,389	14.1%
営業利益	14,520	180,210	165,690	—
営業利益率	0.7%	7.2%	—	6.5p
経常利益	9,969	174,202	164,232	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,141	115,567	113,426	—

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、生命保険会社向けには、顧客管理システムの再構築、生保代理店向け設計書・申込書作成システムの継続的受託をはじめ、資産形成商品である変額保険・変額個人年金保険の投入等の案件が継続し売上が拡大しました。銀行・証券会社に対しては、メガバンク向け資産管理プラットフォーム上のゴールベースプランニングシステムの継続、ネット銀行向けの受託開発が継続、さらに証券会社に対してはIFA向け投資商品発注サポートシステムの開発を行うなど受託開発が好調でした。これにより、受託開発分野の売上高は前年同四半期比22.2%増の2,366,078千円、また自社クラウドサービスである総合資産管理システム（WMW）や独自開発の計算エンジンの使用許諾・使用料課金による売上高も前年同四半期比18.0%増の140,376千円と好調だったことが貢献し、売上高は2,510,162千円（前年同四半期比21.8%増）と第1四半期としては過去最大の数値を計上しました。

一方、システムの受託開発の拡大に対応して労務費・外注費が増加したことなどにより、売上原価は1,914,192千円（前年同四半期比13.8%増）と前年同四半期より増加しました。販売費及び一般管理費についても生成A I等への研究開発費の拡大等により415,759千円（前年同四半期比14.1%増）と前年同四半期に比べ51,389千円増加しましたが、いずれも売上高の増加率を下回る上昇幅に抑制できたため、営業利益は180,210千円（前年同四半期14,520千円）と大幅に増加、営業利益率は7.2%となり前年同四半期の0.7%から大きく改善しました。また経常利益も174,202千円（前年同四半期9,969千円）と大幅に改善しました。

当社グループの主たる事業であるシステム受託開発事業は、生命保険会社の新商品販売時期が4月と10月に集中することにより、売上高が第2、第4四半期に偏重する傾向がありますが、売上高の増加に伴い第1四半期において親会社株主に帰属する四半期純利益は115,567千円（前年同四半期2,141千円）と改善しました。

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		前年同四半期比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
受託開発	1,935,532	93.9	2,366,078	94.3	430,546	22.2
使用許諾・保守	118,981	5.8	140,376	5.6	21,394	18.0
その他	6,416	0.3	3,706	0.1	△2,710	△42.2
合計	2,060,931	100.0	2,510,162	100.0	449,230	21.8

当第1四半期連結累計期間における主なトピックスは、次のとおりです。

① 成長戦略1（顧客基盤深耕・強化）

当社は長年にわたり築き上げてきた金融機関との信頼関係を基盤に、顧客のニーズに対応したシステム開発を継続的に受注し、顧客基盤のさらなる深耕と強化を進めています。当第1四半期連結累計期間においては、生命保険会社向けに銀行・証券会社の新N I S Aに対抗して資産形成商品である変額保険・変額個人年金保険の投入等、既存生保クライアントからの継続的受注が拡大しました。生損保会社向け売上は、前年同四半期比282,330千円増加（15.9%増）の2,058,772千円と拡大しました。

② 成長戦略2（事業ポートフォリオ改革）

特定の業種に依存した売上構成比を改善するために、銀行・証券・I F A等向け売上を増加させて事業ポートフォリオを分散化することに注力しています。当第1四半期連結累計期間においては、メガバンク向け資産管理プラットフォームのプロジェクトの継続、ネット銀行向け勘定系システムのプロジェクトの拡大、さらに証券会社に対してはI F A向け投資商品発注サポートシステムの受託開発が増加しました。その結果、銀行・証券・I F A等向け売上は、前年同四半期比166,900千円増加（58.7%増）の451,389千円となりました。

③ 成長戦略3（ファミリーオフィスビジネスへの参入）

人生100年時代、大相続時代のニーズに対応した相続・事業承継、資産運用事業の展開のために、子会社の株式会社Wealth Engineは、資産運用業界で長年の実務経験を持つ人材を採用し、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業のライセンス取得のための準備を進めるとともに税理士法人との提携を強化しています。

④ 成長戦略4（ストックビジネス向け新プラットフォーム開発）

台湾のウェルスマネジメントシステムでトップシェアを有するSoftBI社と合弁会社株式会社Trust Engineを前期に設立し、顧客管理システム、ポートフォリオ管理、ファイナンシャルプランニング、タックスプランニングなど多彩な機能を備えたI F A向けプラットフォームの開発を推進しています。このプラットフォームを利用して、I F Aや生保代理店、会計事務所を対象にシステムの使用料課金によるストックビジネスの早期の展開を目指しています。

⑤ 生成A Iを活用した新サービス

当社は、生成A Iを活用したサービスの開発に力を入れています。保険の募集文書チェックサービス「LibelliS」は、募集文書等の誤りを生成A Iがチェックし誤謬の可能性のある事項を洗い出すサービスで、生命保険会社向けに有償PoCを提供開始しています。また、AI-OCRを使った決算書読み取りシステムにより、非上場会社の自社株評価を効率化するシステムをすでに複数の金融機関へ納品しています。さらに、生成A Iによって相続・財産承継・事業承継、資産運用における課題を洗い出し提案書を作成する相続・財産承継提案のためのA Iエージェントシステムを現在開発中です。

⑥ IDC FinTech Rankings 2025 Top 100に選出

米国のI T・通信分野の調査コンサルティング会社IDCが毎年実施していますグローバルランキング「IDC Fintech Rankings 2025」において、当社は日本企業で唯一TOP100社に選出されました。今後も先進のテクノロジーを活用しF TとI Tの統合によって顧客のD Xを実現する先進のフィンテック企業として邁進してまいります。

なお、当社グループはシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて314,572千円減少し、6,315,994千円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて132,594千円減少し、4,545,067千円となりました。これは主として現金及び預金が123,617千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて181,457千円減少し、1,761,560千円となりました。これは主として投資有価証券が182,019千円減少したこと等によるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産合計は、前連結会計年度末に比べて520千円減少し、9,366千円となりました。これは創立費が520千円減少したことによるものであります。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて245,564千円減少し、2,454,844千円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて134,083千円減少し、1,822,837千円となりました。これは主として未払法人税等が60,763千円、その他に含まれる未払消費税等が85,321千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて111,480千円減少し、632,006千円となりました。これは主として長期借入金が66,656千円、その他に含まれる繰延税金負債が45,545千円減少したこと等によるものであります。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて69,007千円減少し、3,861,150千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を115,567千円、剰余金の配当を54,587千円、その他有価証券評価差額金の減少124,738千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,768,686	1,645,068
売掛金及び契約資産	2,767,696	2,644,507
仕掛品	57,243	148,294
その他	84,839	107,964
貸倒引当金	△803	△767
流動資産合計	4,677,662	4,545,067
固定資産		
有形固定資産	303,890	322,494
無形固定資産		
ソフトウェア	267,242	239,412
その他	5,817	18,299
無形固定資産合計	273,059	257,712
投資その他の資産		
投資有価証券	920,901	738,881
その他	445,166	442,471
投資その他の資産合計	1,366,068	1,181,353
固定資産合計	1,943,018	1,761,560
繰延資産		
創立費	9,886	9,366
繰延資産合計	9,886	9,366
資産合計	6,630,567	6,315,994
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	401,682	413,022
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	477,831	445,894
未払法人税等	118,500	57,737
受注損失引当金	2,629	19,171
賞与引当金	29,499	14,543
その他	426,778	372,468
流動負債合計	1,956,921	1,822,837
固定負債		
長期借入金	433,463	366,807
資産除去債務	180,052	180,406
その他	129,972	84,793
固定負債合計	743,487	632,006
負債合計	2,700,408	2,454,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,831	948,831
資本剰余金	829,897	829,897
利益剰余金	1,578,511	1,639,491
自己株式	△691	△691
株主資本合計	3,356,548	3,417,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362,046	237,308
その他の包括利益累計額合計	362,046	237,308
新株予約権	67,605	67,605
非支配株主持分	143,958	138,708
純資産合計	3,930,158	3,861,150
負債純資産合計	6,630,567	6,315,994

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,060,931	2,510,162
売上原価	1,682,041	1,914,192
売上総利益	378,890	595,969
販売費及び一般管理費	364,369	415,759
営業利益	14,520	180,210
営業外収益		
保険解約返戻金	133	—
受取賃貸料	533	539
その他	143	226
営業外収益合計	811	766
営業外費用		
支払利息	5,336	6,042
その他	24	732
営業外費用合計	5,361	6,774
経常利益	9,969	174,202
特別利益		
新株予約権戻入益	1,729	—
特別利益合計	1,729	—
税金等調整前四半期純利益	11,698	174,202
法人税、住民税及び事業税	△1,327	45,739
法人税等調整額	10,884	18,145
法人税等合計	9,557	63,884
四半期純利益	2,141	110,317
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,141	115,567

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,141	110,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146,470	△124,738
その他の包括利益合計	146,470	△124,738
四半期包括利益	148,612	△14,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,612	△9,170
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、システム開発事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	66,382千円	58,360千円